



40代男性

Q

仕事の内容を教えてください

作業療法士という資格をもってクリニックでや児童発達施設で仕事をしています。今は、3歳児～中学生までのお子さんやそのご家族の生活を支援する仕事をしています。支援することは、生活していて困っていること、変えたい変わりたいと思っていること、夢や希望があるけどなかなか理由があって進めずに辛くなっている、などを一緒にどう切り抜けるかの対処方法を考え、並走しながら生活を支えるような仕事です。困っていること背景には、病気や障害があることが多いです。

Q

お客さんはどんな人ですか

作業療法士が対象とする方の年齢は、0歳児から上限なしです。基本的には、病気や障害のあるかたが対象になりますが、病気や障害がなくても、一時的にしんどくなったり、学校や会社などにいけなくなった、行きたくなくなったなどといった方々の支援も行います。

Q

どんな「こだわり」をもって 仕事をしていますか

最前線の黒子をとることを意識しています。支援させて頂く対象者の方々が主役として、生活のなかでイキイキとできる瞬間をどう作れるのかを考えています。対象者の方々の考えや性格、おかれている環境などを頭に置きながら、自分は無色透明、目の前の方の色(カラー)に近づくようなスタンスで支援させて頂いています。『心が動けば体が動く』これは、僕の好きな考え方です。心が動くようなきっかけを支援の中で作れたら

Q

どんな人と「一緒に仕事をしたい」と思いますか

お互いに特徴を認め合いながら、良いところを活かし合えるような相手と一緒に働きたいと思っています。1人でできることはとても少ないと思います。お互いの良いところを活かし合いながら取り組むと、とても楽しくイキイキとできます。1+1=2以上の力になると思います。

Q

学校生活の経験で仕事に 活かされていることはありますか

野球を小学校からやって来ました。学校生活の思い出はそれにつきます。その中で学んだことは、1番は耐えることかなど。きついことやしんどいことなどありますが、諦めずに少しずつ積み重ねていく力は今にいきているなどと思います。あと、人との繋がり方を学べたかなとも思います。先輩後輩関係はとても面倒できついときもありました。しかし、嫌な気持ちにならないやり取りの仕方や尊敬したり思いやるということなども学ぶことができ、今の生活にいかされているなどと思います。

Q

仕事を始める前と現在を比べて 気付いたことや変わったことは ありますか

この仕事を始めた頃は、とにかく沢山の知識や技術を身に付けて、何でも自分ができるようにならないとやっていました。しかし、自分の身は1つで、役割や立場など沢山のことを抱え続けることはできないことに気付きました。身に付けることと同じくらいに、引き継ぐ力や手放す力も大事だなと感じました。

Q

いまの仕事を始めてから 「意外とできた、うまくいった」と 思ったことはありますか

継続する事かなと思います。小さなことでも10年20年…と続けてくることはとても大変ですが、なんとか作業療法士を続けてこれました。継続は力なり。

Q

スクール生に対して 一言メッセージをお願いします

人生、大変で苦労やしんどいことも沢山あります。その時そう感じて、その先には自分ができることのできる、自分が楽しいと感じられる未来があります。考え方ひとつで今の自分の気持ちも180度変わることもあります。人は皆、心の中に炎があるとおもっています。その炎は燃えている人もいたら炭のようにくすぶってる人もいます。くすぶってる火種は仰げば炎がたちます。お互いに仰ぎ合えるような仲間と出会い、イキイキと燃え上がって生きていけるといいですね。人生は結構楽しいもんですよ。